

- ◆ 女性活躍とワークライフバランス推進のための取組を行うにあたり、これまでの地域連携の取組等により信頼関係を構築してきた外部機関等と関係を深め、異業種からのゲスト招聘による女性ランチミーティングの開催や、女性活躍推進を先進的に進めている政府系金融機関や地元大学との連携を実施。
- ◆ 「女性活躍とワークライフバランス推進」という新たな観点で地域主体と連携することにより、相互に向上できる関係を構築。
- ◆ 今後も関係の深化を図り、様々な視点、テーマにより地域主体と連携しながら取組を進めていく。

1. 成果事例の概要等

- 東海財務局では、「財務省女性職員活躍とワークライフバランス(以下「WLB」)推進のための取組計画」を踏まえ、女性職員の採用・登用の拡大及び職員の仕事と生活の調和を推進するため各種取組を積極的に行っている。
- 当局女性職員活躍とWLBの推進のための取組を行うにあたり、これまで地域連携の取組等により信頼関係を深化させてきた外部機関等との関係を深め、以下の企画等を実施。

◆ 地元女性記者を交えた女性職員ランチミーティングを開催

当局では、東海地域に所在するマスメディア各社の経済担当部長クラスと当局幹部で構成されるプラットフォーム(=名経会)を形成している。会合の際、参加者の女性記者が当局のWLBの取組に関心を持っていただいたことから発展。**4名の女性記者を交えた女性職員限定ランチミーティング(※)の開催が実現。**(平成27年11月6日)

※平成25年より、女性職員同士の人脈形成の支援、メンタル面のサポート、キャリアアドバイスの提供等を目的に年3回程度開催。



教養講話の様子

◆ 女性活躍推進を先進的に進める外部機関との連携

①政府系金融機関との連携

地域における金融機能の高度化を図るため、政府系金融機関(日本政策金融公庫。以下「公庫」と)との連携強化を図るなか、女性活躍推進の取組を接点として、積極的に地域における女性活躍推進の促進等、地域との関係深耕を図っている先と関係構築を進めており、以下の取組を実施。

- ・ 公庫で開催した東海北陸ブロックでの女性活躍推進にかかる社内コンテストを見学(28年1月15日)。
- ・ 当局で開催したWLB推進をテーマとする教養講話に公庫担当者を招待(28年1月18日)。

②地元大学との連携

国連女性機関から男女共同参画を推進する世界10大学に選ばれた名古屋大学において、男女共同参画室長として活躍中の東村博子教授を講師として招聘。管理監督者研修においてWLB推進をテーマとする講演を開催したほか、当局女性活躍・WLB幹事会メンバーとの意見交換を実施(27年11月24日)。

2. これまでの取組の成果等

◆ 地元女性記者を交えた女性職員ランチミーティング

参加した女性記者からは、当局の業務内容を知る貴重な機会であった、同じように育児をしながら働く女性として、当局の女性活躍の取組に関心を持った等の声があったほか、当局職員からは、異業種からのゲスト招聘は非常に有意義だった、育児をしながら第一線で活躍する女性の話は刺激になったなどの感想があり、女性職員の意識改革、意欲向上の面でも高い効果が得られた。



ランチミーティングの様子

◆ 女性活躍推進を接点とした外部機関との連携

公庫において見学した社内コンテストでは、各地域の女性団体との連携や、職場環境・仕事改革の取組事例の発表があり、当局の取組の参考となる情報が得られた。また、公庫の女性職員を招いた女性職員ランチミーティングの開催等にも発展しており、女性職員を主体とする関係構築の足掛かりとなることが期待される。

地元大学との連携においては、講演が女性職員の意欲向上に寄与するだけでなく、当局における女性活躍とWLB推進にかかる取組において、参考となる取組事例を知る貴重な機会となった。

女性活躍とWLB推進という新たな観点で地域主体と連携することにより、相互に向上できる関係を構築し、関係深化につながった。

3. 今後の課題と東海財務局の対応

＜今後の課題＞

- 外部機関等と女性活躍推進の取組を接点として関係深化を図るとともに、主婦層・子育て世代へのアプローチなど、地域との関係を深化させるための取組に発展させていけるかを探っていく。

＜今後の東海財務局の対応＞

- ランチミーティングも活用しながら外部機関との関係深化を図るとともに、当局の「女性活躍とWLB推進」の取組を一層推し進めていく。